

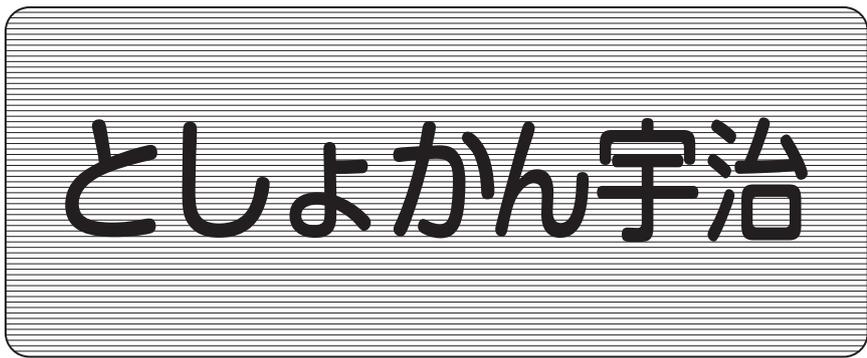
No. 66

2013年11月1日発行

宇治市中央図書館
〒611-0023 宇治市折居台1-1
0774 (39) 9256

宇治市東宇治図書館
〒611-0011 宇治市五ヶ庄三番割36-5
0774 (39) 9182

宇治市西宇治図書館
〒611-0042 宇治市小倉町山際63-1
西小倉地域福祉センター3階
0774 (39) 9226



図書館ホームページ <http://library.city.uji.kyoto.jp/> (携帯電話 <http://library.city.uji.kyoto.jp/i/>)



本の修理の愉しみ

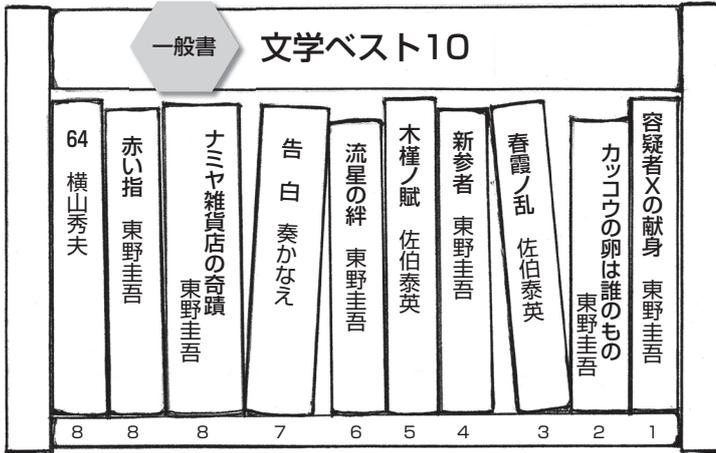
本の修理ボランティア

代表 三木 慎一

毎週金曜日の午前十時前になると、中央図書館集会所に三々五々、老(若)男女が集まってくる。サークルの名は「本の修理ボランティア」。図書館の傷んだ本の修理をするのである。現在メンバーは約二十名。家事、体調を優先するので顔ぶれはその都度入れ替わるがいつも十名を切ることはない。作業の内容は至ってシンプル、傷んだ本をできる限り原状復帰させるのである。「汚れ」「破れ」「ページ外れ」「綴じ糸の緩み」「表紙の外れ」などを糊、テープ、糸で修理する。一時間程で習得できるものから多少技術を要するものまでメンバーが自己判定の習熟度に応じて修理に取り組む。世間話で和気あいあいの中、適度にベテランが指導してくれるので皆さん上達は早い。毎回、百五十冊〜二百冊の修理をこなしている。修理に回ってくる傷んだ本は、それだけ多くの人々に読まれたという証であり、いわば名誉の負傷である。時には児童書、絵本などの中に我が子の幼き日に読み聞かせたロングラン本もある。こうした本に出会うと懐かしくて修理の手にもおのずと力が入る。

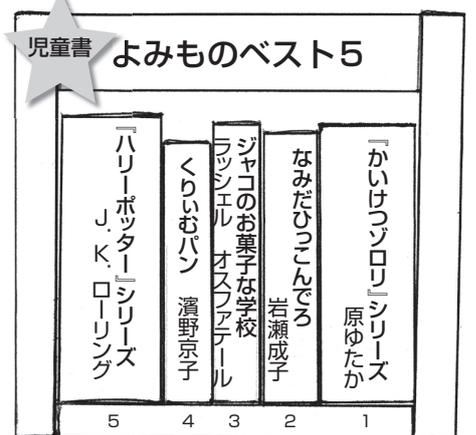
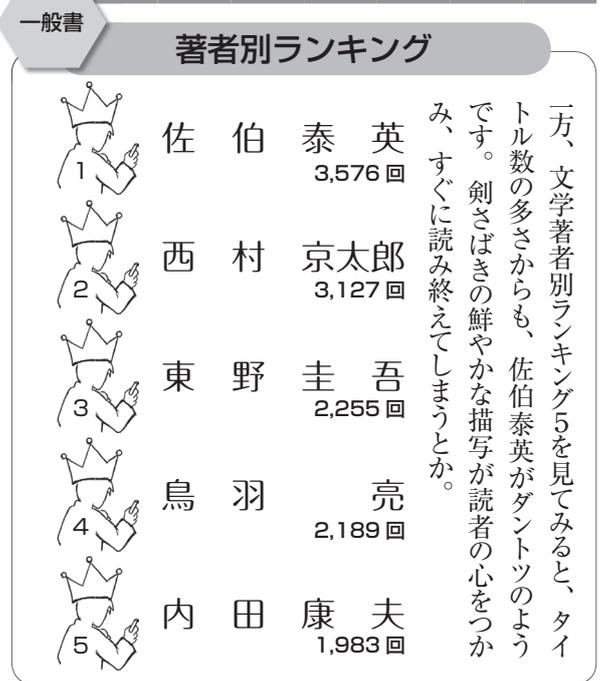
参加の動機はメンバーそれぞれであるが、共通しているのは皆さん「本好き」であることだろう。私はリタイアした年に仲間に入れてもらい八年目の修行半ばであるが、修理の際に綺麗な装丁の本に出会うことを一つの楽しみになっている。昨今、電子書籍が潮流を成している向きもあるが、装丁の美しさは紙の本ならではの美しさである。また、和やかな雰囲気もさることながら、このサークルには一つの特徴が有り私は大変好ましく思っている。それは、この会が使う作業道具に、焼き鳥の竹串、カメラファイルムの空きケース、豆腐のプラスチックケースなど廃品を再利用していることである。これはサークル発足以来受け継いでいる伝統であり、この「つましさ」が「本の修理」という作業とピタリと似合うのである。

図書館の本の修理を手伝うようになって十八年目になる今年四月、京都府図書館等連絡協議会から功労者(団体)表彰を受けた。予期せぬことであったが活動の励みになる嬉しい出来事であった。そして、紙の本が続く限り、新たなメンバーを迎えながら、このサークルが継続されることを願っている。



一般書文学でベストテン入りしたのは、日本の小説、推理・サスペンス、しかも圧倒的に東野圭吾に人気があるようです。また、佐伯泰英の時代小説では「居眠り磐音江戸双紙」シリーズが人気です。

さて、文学以外の一般書ベスト5では、多ジャンルに渡ってマスコミで話題となったタイトルがランクインしました。自身の生き方や考え方について参考になる図書が人気であることがうかがえます。



児童文学で堂々1位を占めるのは、「かいけつゾロリ」シリーズ。奇想天外なストーリー展開が子どもたちにウケています。えほん・よみものともに上半期では、夏休み課題図書が貸出回数をのばしました。それ以外のえほんでは、「パーパパ」シリーズが人気を博しました。

★さて、残る半期でベストテン入りを果たす図書はあるでしょうか。★

オーバック OPACの裏ワザ

みなさん、図書館にあるOPAC^{注1}は、お使いいただいていますか？多くの方は、OPACで本を探される場合、1番上にあるキーワード検索で、本の名前を入れて検索することが多いと思います(図1)。でも、「げんじものがたり」とかで検索すると、とってもたくさんの本がでてきて、そこから探すのが大変ですよ。著者名がわかっている場合には、上から2番目の「詳細検索」を選んで、例えば、瀬戸内寂聴さんの源氏物語なら、「書名/タイトル」に「げんじもの^{注2}」、「著者名」欄に「せとうち」と、2つ入力して検索してみてください(図2)。すると、「書名/タイトル」が「げんじもの」で、かつ、「著者名」が「せとうち」さんの本だけを絞り込んで検索することができます。

OPACのちょっとした裏ワザでした。

注1 “オーバック”と読む。本や雑誌などを探するための機械(システム)の名前。

注2 書名が長い場合、全タイトルを入力しなくても検索は可能です。

図1 「大人用 OPAC 検索」画面

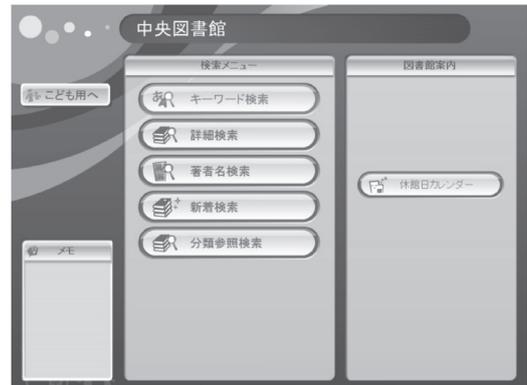


図2 「詳細検索」画面



ちはや姫 コーナーに…ここは紫式部文学賞の受賞作品のコーナーね。私は今『東

ちはや姫本がいっぱい雑誌もいろいろな種類を置いてあるのね。源氏物語関連資料の

図書館へようこそ

副都心にインタビュー

第51回

宇治市宣伝大使
ちはや姫

京プリズン』を読んでいるのよ。
*ちはや姫の名前の「ちはや(ぶる)」にはどんな意味があるのですか？
「神」だけでなく「うち(宇治)」にかかる枕詞で「勢いが強い」という意味があるのよ。これから図書館もどんどん勢いを増して行ってほしいわ。



OPACで検索中

*これは何かわかりますか？

知っていますわ。OPACでしよ。「ちはや」で検索したら…あら8件も。「ちはや」と覚える百人一首なんて面白そうね。借りて帰ろうかしら？

*申し訳ないのですが、これは今、貸出中です。予約リクエスト申込書を書いていただければ、返ってきたときにご連絡できますがいかがですか？

ではお願いするわ。

*承知いたしました。用意ができましたらご連絡いたします。今日はお忙しい中、ご訪問ありがとうございます！



田辺写真館と 宇治川電気

田辺聖子さん、と言えば図書館利用者の皆さんにとって、なじみ深い作家だろう。

自立する女性の心理を巧みに描いた「言い寄る」に代表される創作作品はもとより、「新源氏物語」シリーズなど古典文学の翻案、与謝野晶子など先輩作家の評伝、さらには「蜻蛉日記」「今昔物語」など古典文学の魅力や、夫である「カモカのおっちゃん」はじめ身近な人びとの交流を描くエッセイなど、多彩な作品群により、年齢・性別を問わず、幅広い読者を獲得している。

みずからの生い立ちを語る、自伝的な作品群も充実。二〇〇六年十月から半年にわたって放送されたNHK連続テレビ小説「芋たこなんきん」が記憶にあたらしい。その原作のひとつ

つが『田辺写真館を見た』昭和。大阪市福島区の電車通りにあった田辺写真館に暮らし集う人びとを、昭和前期という時代とともに描き出す。

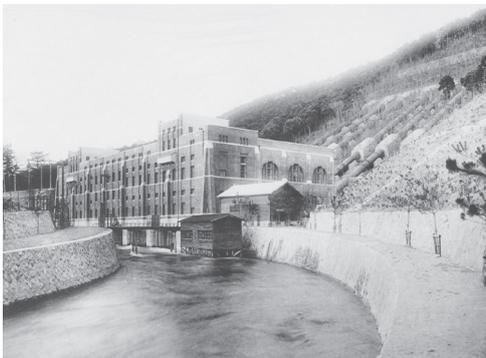
写真業は明治末期、祖父の代からという。その頃の写真は日光焼きで、雨が続きば商売はあがったり。「写真屋殺すにや刃物は要らぬ、雨の十日も降ればよい」とうたわれた。ところが大正時代になり宇治川電気・大阪電燈などにより電力の供給が安定すると、写真の焼き付けに電気が使われるようになる。その日の天気に一喜一憂する心配はなくなり、写真業界はいずれも大繁盛。田辺さんが生まれ育った写真館の設立には、宇治川で作られた電気が多いに貢献したのである。

そんな宇治川電気が、今も現役の宇治発電所から送電を開始したのは大正二年（一九一三）のこと、今からちょうど百年前だ。歴史資料館ではこれを記念し、特別展「宇治電―水力の時代へ」を開催（九月二八日）

十一月一七日）。明治の巨大プロジェクトの全貌を紹介する。

さて後年、田辺さんが紫式部女流文学賞の選考委員に就任されたのも、何かのご縁だろうか。宇治ゆかりの作品はやはり源氏物語関係が多く、『新源治物語 霧ふかき宇治の恋』『田辺聖子の源氏がたり 宇治十帖』など。開館もない時期の源氏物語ミュージアム訪問記「宇治の川霧」は、『ほっこりぼくぼく上方さんぽ』に収録される。宇治市図書館が所蔵する田辺さんの著作は二百冊以上。お好きなのからどうぞ。

（れきし・こじま）



竣工まもない頃の宇治発電所 今も現役

利用案内

・市内に在住、または市内に通勤・通学されている方なら、貸出券を作ること
で一人十冊三週間、本が借りられます。
貸出券は全館共通です。図書館で借り
た本は市内のどこの図書館へも返却す
ることができます。

・図書館は九時から十七時まで開館して
います。休館日は毎週月曜日、第四木
曜日（いずれも祝日の場合は翌日）、
祝日の翌日（土・日曜日の場合は平日
に振替）、年末年始蔵書点検期間です。
・予約された本を市内五カ所の施設（木
幡公民館、槇島コミュニティセンター、
南宇治コミュニティセンター、開地域
福祉センター、京都文教大学図書館）
で受け取ることができます。原則週一
回、木曜日の午後には搬送します。
・図書館で借りた本は右記の五カ所の施
設へは返却できません。

あとかき

各図書館は、改修工事のため左
記の日程で休館します。期間中は、
臨時窓口を設置します。ご不便を
おかけしますが、ご理解とご協力
をお願いします。

中央図書館 H26 1/5～2月上旬
東宇治図書館 H26 1/5～3月上旬
西宇治図書館 H26 2月上旬～3月上旬